

キーワード 🔍

咳

咳嗽モデル

カプサイシン

ジヒドロコデイン

咳抑制剤

呼吸

呼吸器



公式サイト

カプサイシン誘発咳嗽モデル

弊社の保有する呼吸器系疾患モデル試験の一つであるカプサイシンを誘発物質として用いた咳嗽モデルのご紹介です。詳細についてのご質問や相談がありましたらお気軽にお問合せください。

試験方法

使用動物：モルモット

誘発物質：カプサイシン

陽性対照物質：ジヒドロコデインリン酸塩

誘発方法：ネブライザーで気化させたカプサイシン溶液を人工呼吸器で押し出し吸入します。

試験スケジュール



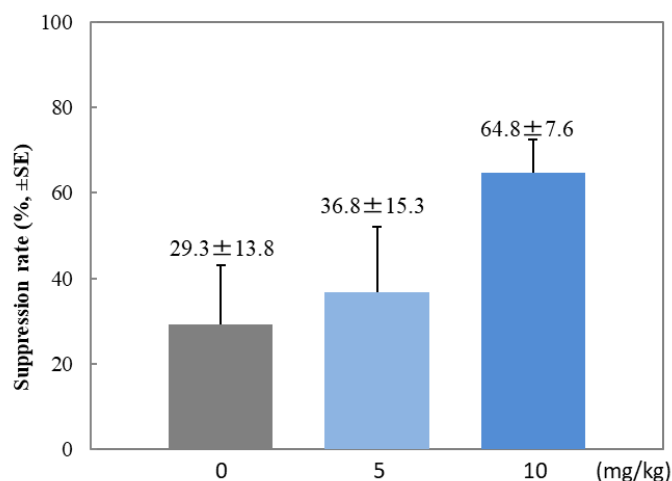
方法：薬剤投与前にカプサイシンを吸入させて、咳嗽数測定を行い、薬剤投与1時間後に再びカプサイシンを吸入させて咳嗽数測定を行います。

評価・結果

評価項目：咳嗽数の測定

評価方法：薬剤投与前咳嗽数（Pre）と薬剤投与後咳嗽数（Post）から抑制率（%）を算出します。

$$\text{抑制率 (\%)} = (\text{Pre}) - (\text{Post}) / (\text{Pre}) \times 100$$



Dihydrocodeine phosphate

咳抑制率

結果

ジヒドロコデインリン酸塩を投与した群では、
咳抑制率が上昇した。

